

---

# 星と灯火

夏目洋介

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

星と灯火

### 【Nコード】

N1870E

### 【作者名】

夏目洋介

### 【あらすじ】

人の愛は、人を生かします。きっと人を殺したりはしない。そう信じたい。

自分の「死」というものを考えるとき  
人は何を思うのだろう

#####

夜・・・

私は今ビルの屋上に立っている  
一歩、また一歩私は知らない世界へと近づく  
この世界とバイバイする為に・・・

#####

私があなたと出会ったあの日  
私は今も覚えている。

あなたは私に言ってくれたね  
「一目ぼれしました。付き合ってください。」  
って。

私は今も覚えているよ。  
あの時のあなたの  
少し照れた顔を、  
緊張気味の言葉を、  
そして・・・  
熱い思いを。

私は嬉しかった。

だって今まで人に必要にされたことがないから。  
だって私の生きる意味もよく分からなかったから。

でもあなたが変えてくれた。

私を必要としてくれた、

好きだって言ってくれた、

そして・・・

ようやくこの世界に生まれることができた気がした。

でも・・・

あなたは逝ってしまった。

私もあなたも知らない子供を助けるために  
あなたはトラックの前に飛び出した。

覚えてる？

ずっと・・・ずっとそばにいてって言ったんだよ？

死ぬまで愛してるって言ったんだよ？

死んじゃったら・・・死んじゃったら私を愛してくれないの・・・？

私をこの世界に認めてくれる人は・・・

もう・・・

いない。

#####

この町で一番高いビルの屋上からは  
たくさんの星とたくさんの町の明かりが見える

上に見える星の明かりは遠い世界からの贈り物  
下に見える町の明かりは現実の世界の命の灯火

私は上を選ぶ

あなたがいない世界ならば  
いつかは消えて無くなる灯火ではなく  
ずっと輝く星になりたい

足を半分外側に出す  
ミニールを履いている裸の足に  
下から冷たい風を感じる

上体を前に倒す  
下にたくさんの灯火が見えた

すると・・・

そこに去年の私とあなたの姿が見えた

#####

夏に二人は一緒に花火を見に行った。

あなたは屋台でたくさんの食べ物買って嬉しそうに食べていたね。  
花火を見てよって私はふくれてるね。  
でも、

最後の特大花火のとき、  
あなたは私の肩を抱いてくれたね。  
少し照れくさそうにしながらだけど、  
緊張してたの伝わったよ。  
だって手が震えてたんだもん。

私、  
とっても嬉しそう・・・。

あなたの愛が伝わって  
とってもとっても嬉しそう。

#####

倒れかけた上体がふつと元に戻った

拍子に履いていたミュールが真っ暗な世界に落ちていく  
カッーンと間抜けな音が静寂な夜に響く

私

死にたくない  
死にたくない

だって

私を愛してくれたあなたのことが好きだったから

だって

あなたを愛した私が好きだったから

そんな自分と離れたくないよ

そんな自分を殺したくないよ

死にたくないよ

死にたくないよ

涙が・・・止まらなかった

私の泣き声を

たくさんの星と

たくさんの灯火が

やさしく、やさしく包んでくれた・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1870e/>

---

星と灯火

2011年1月16日09時40分発行